

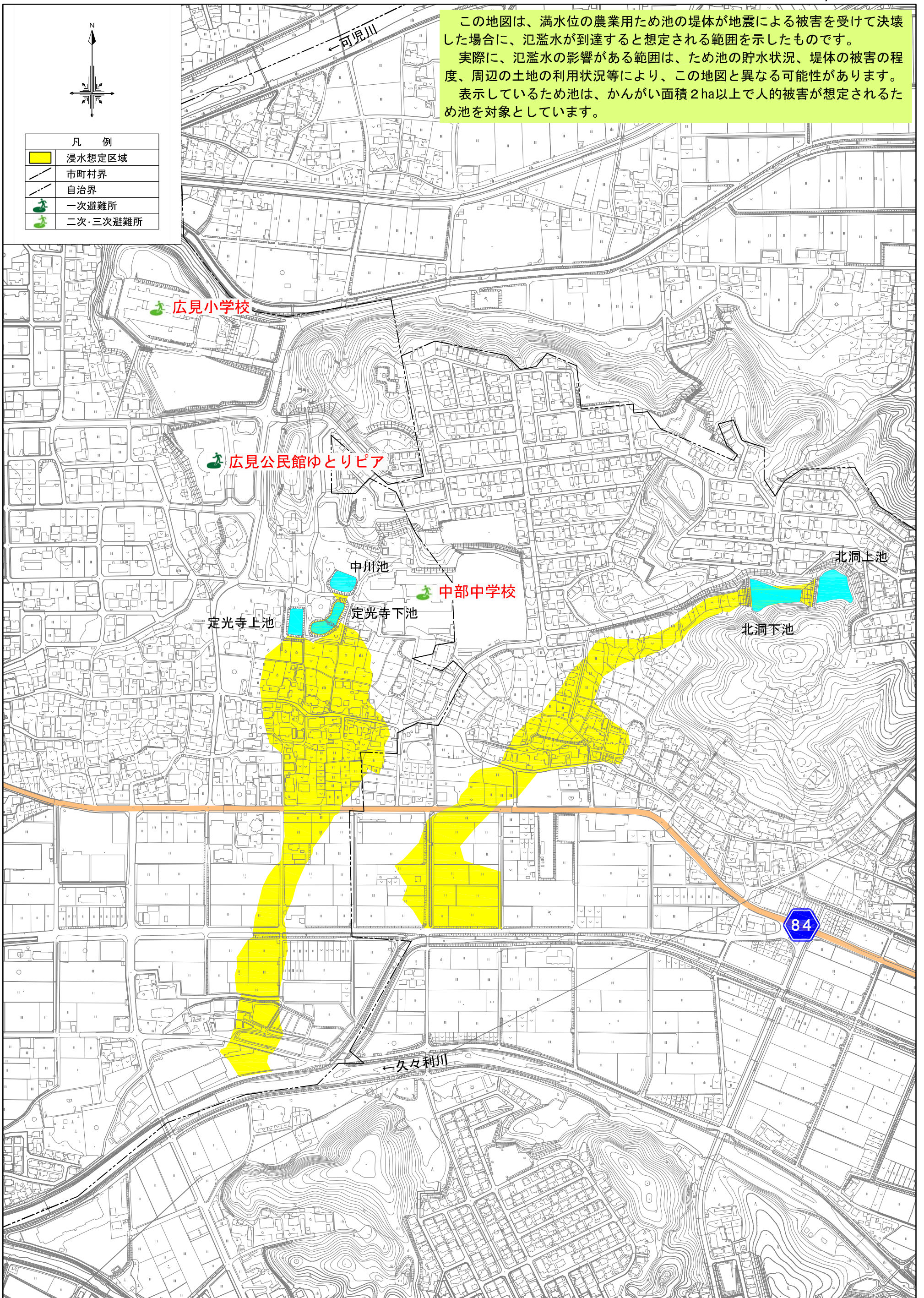
可児市広見地区 ため池ハザードマップ

1:5,000

この地図は、満水位の農業用ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に、氾濫水が到達すると想定される範囲を示したものです。
実際に、氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地の利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。
表示しているため池は、かんがい面積2ha以上で人的被害が想定されるため池を対象としています。



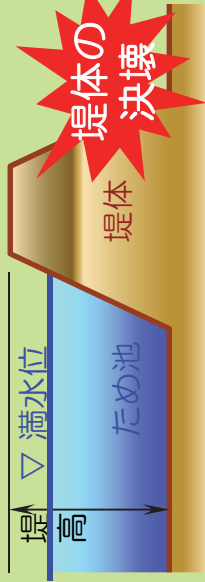
凡 例	
	浸水想定区域
	市町村界
	自治界
	一次避難所
	二次・三次避難所



ため池の役割

ため池は、可児市内の農地をかんがいするために造られた貯水池です。現在は、農業用水の利用のほか、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能を備えています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模



浸水区域図作成の条件

堤体決壊条件

本ハザードマップは、堤体が満水時に決壊した場合の浸水状況を記載しています。地震時の決壊は、瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

堤体決壊時の最大流出量と流出継続時間

名称	堤高 H (m)	総貯水量 V (m ³)	最大流出量 Qmax (m ³ /s)	流出継続時間 (分)
中川池	2.49	1,000	26,199	1
定光寺上池	2.88	2,700	42,267	2
定光寺下池	2.15	1,500	29,206	2

浸水想定区域の仮定

浸水区域は、流下する地域の地形条件に、堤体決壊時の最大流出量を与え、降雨量はゼロとしてシミュレーションにより求めたものです。浸水に与える流量は、ため池の総貯水量のみとして、河川には水がないものとして浸水範囲を解析しています。大雨による決壊の場合には、この浸水想定区域に加え、降雨および河川の水量が加わってきまふすので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。

地震および豪雨による堤体の決壊

地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のとおりが想定されています。堤体の異常に気がついたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に避難するようにしてください。

地震により堤体が決壊

被災形態	被災メカニズム	被災形態	被災メカニズム
<クラック> 	堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちなどが発生し、特に注意が必要です。	<浸透破壊> 	堤体内部が劣化して、水を通る機能が低下し、貯水時の水圧も上昇したときに堤体内の水も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
<沈下> 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。	<降雨浸透> 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部分の強度が低下することによって法面部分で崩壊が発生し、破壊する場合があります。
<斜面崩壊> 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。	貯水からの浸透 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
<斜面すべり> 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。	越流破壊 	堤体により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
<崩壊> 	堤体や地盤が大きく変化した崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液化化によるものと考えられます。	越流浸食 	

豪雨により堤体が決壊

被災形態	被災メカニズム
<浸透破壊> 	堤体内部が劣化して、水を通る機能が低下し、貯水時の水圧も上昇したときに堤体内の水も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
<降雨浸透> 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部分の強度が低下することによって法面部分で崩壊が発生し、破壊する場合があります。
貯水からの浸透 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
越流破壊 	堤体により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
越流浸食 	

避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前の備えをし、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。ため池の決壊と、大雨が重なる時は、浸水被害想定範囲が拡大し、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃から準備

我が家の避難経路・避難場所



非常持ち出し品の事前準備



浸水想定区域外への避難

火元確認を



自主避難を



避難時の注意事項

動きやすい服装で



浸水は、浅くても危険



万が一、逃げ遅れたときは



緊急時の連絡先

ため池の異常や漏れ、決壊など気づかれた場合は、関係機関等に一報を入れてください。

名称	電話番号	住所
可児市役所	62-1111	可児市広見一丁目1番地
可児川防災等ため池組合	62-1230	可児市下恵土5166-1 (可児市総合会館分室)

各種情報 (インターネット・ホームページ他)

関連情報	アドレス	発信元
防災情報	http://www.city.kani.lg.jp/ 専用電話 62-1548 「防災無線」電話で確認サービス	可児市役所
防災防犯メール	携帯電話 kani@sugumai.l.com に空メール	岐阜県総合防災ポータル
防災・防犯	http://www.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県
交通情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/	気象庁
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/	岐阜地方気象台
防災気象情報	http://www.jma-net.go.jp/gifu/	

避難場所

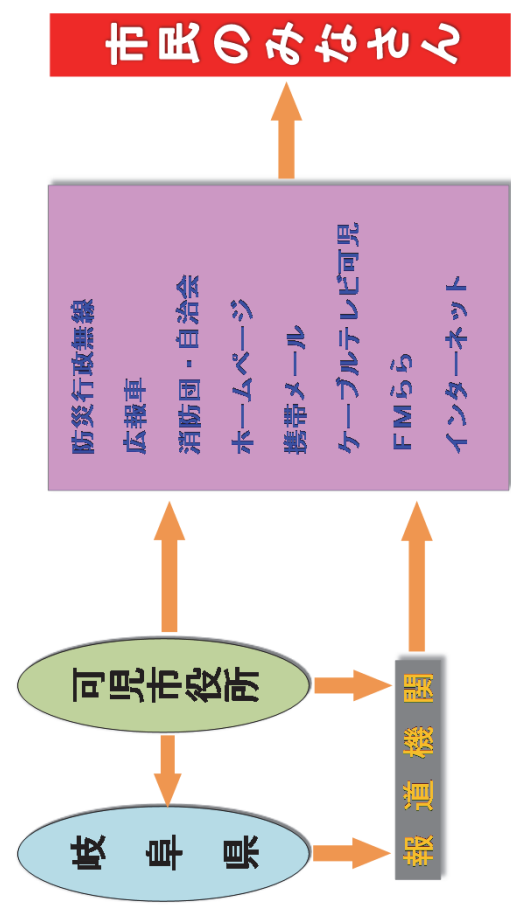
第1次避難場所

名称	住所	電話番号
広見公民館ゆとりピア	広見7-77	62-2101

第2次避難場所

名称	電話番号	名称	電話番号
総合会館	62-1111	広見小学校	62-1551
中部中学校	62-1161		

情報の伝達経路



この地図は、農村地域防災減災事業に基づき、岐阜県が作成したものです。
岐阜県 可茂農林事務所
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎3F
TEL 0574-25-3111 (代)